

- 問1 1967年に制定された「公害対策基本法」に代わり、1993年に「環境基本法」が制定された主な理由として、当時の社会状況の変化をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. パリ協定の採択に基づき、国内の環境規制を国際基準に合わせることで、途上国への技術支援を経済政策の柱として位置づけるため | 2. 高度経済成長期に発生した四大公害裁判の判決を受け、公害の被害者救済と原因企業の処罰のみに特化した厳しい規制を行う必要が生じたため | 3. 国際連合人間環境会議の開催を受け、世界に先駆けて二酸化炭素の排出量を半分に削減する具体的な数値目標を国内法で義務づけるため | 4. 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため |
|--|---|--|--|
- 問2 国際連合の専門機関の一つであり、世界的に見て保存する価値がある貴重な自然や建造物を「世界遺産」として登録・保護する活動を行っている組織として適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| 1. ユネスコ (国際連合教育科学文化機関) | 2. ユニセフ (国際連合児童基金) | 3. WHO (世界保健機関) | 4. ILO (国際労働機関) |
|------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
- 問3 1990年頃を境に国際連合の加盟国数が160か国弱から180か国以上へと急激に増加した背景について、当時の国際情勢の説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. ソビエト連邦が解体され、東欧の民主化とともに多くの国が独立したため | 2. アフリカの多くの植民地がいったいに独立し「アフリカの年」と呼ばれたため | 3. 冷戦の影響で加盟が認められていなかった日本が初めて加盟したため | 4. 第一次世界大戦が終結し、平和維持のための国際連盟が設立されたため |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問4 1989年、分断された東西ドイツの象徴となっていたベルリンの壁が市民によって壊され、人々の喜びが世界中に報じられました。この出来事と同じ年に地中海の島で開催され、アメリカとソ連の首脳が長年続いた対立の歴史に幕を閉じることを合意した会談の名称と、その宣言内容の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 1. マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した | 2. ポツダム会談において、日本の無条件降伏を勧告した | 3. マルタ会談において、ソビエト社会主義共和国連邦の解体を宣言した | 4. ヤルタ会談において、戦後のドイツ分割統治を決定した |
|-------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------|
- 問5 1975年から現代に至るまでの世界の動きをまとめた年表において、1993年に位置づけられる出来事として最も適切な説明を選択してください。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 第一次世界大戦の反省から、世界初の国際平和維持組織として国際連盟が設立された。 | 2. イギリス船が沈没したノルマントン号事件をきっかけに、不平等条約の改正運動が激化した。 | 3. マーストリヒト条約の発効により、ヨーロッパにおける経済的・政治的な統合体であるEUが発足した。 | 4. ルーズベルトとチャーチルによって大西洋憲章が発表され、戦後の平和構想が示された。 |
|--|---|--|---|
- 問6 1980年代後半から1990年代初頭にかけての、地価や株価が異常に高騰した「バブル経済」と呼ばれる時期における日本の廃棄物の状況と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大量生産・大量消費の社会背景により、ごみの総排出量は急激に増加し、年間5000万トンを超える水準に達した。 | 2. 不況による消費の冷え込みから、ごみの排出量は1980年代後半から1990年代初頭にかけて横ばいの状態が続いた。 | 3. 環境保護意識の高まりによってリサイクル運動が全国に普及したため、ごみの総排出量は1980年代を通じて減少傾向にあった。 | 4. プラスチック製品の利用を制限する法律が施行されたことで、生活系ごみの排出量は1970年代に比べて大幅に抑制された。 |
|--|--|--|--|
- 問7 欧州連合 (EU) が発足した1993年に、千葉県の日暮野が登録された「ラムサール条約」の内容として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 文化財や自然環境のうち、人類全体にとって顕著な普遍的価値を持つものを保護している。 | 2. 国境を越えて移動する、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引を規制している。 | 3. 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。 | 4. 酸性雨の原因となる物質の排出を抑えるため、多国間での協力体制を構築している。 |
|--|---|---|---|
- 問8 1980年代後半から1990年代初頭にかけて、第二次世界大戦後の国際秩序が大きく変化し冷戦が終結した背景と結果について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 社会主義陣営の結束を強めるためにワルシャワ条約機構が強化された結果、アメリカが歩み寄りざるを得なくなり冷戦が終わった | 2. アメリカとソ連がキューバを巡って核戦争寸前の対立を起こした結果、双方が歩み寄り、冷戦が即座に終結した | 3. ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された | 4. 西ドイツと東ドイツの間で武力衝突が激化したため、国際連合の仲裁によってベルリンの壁が取り壊され、冷戦が終結した |
|---|---|--|--|
- 問9 1989年のマルタ会談による冷戦終結後の国際社会の動向について、正しい説明はどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。 | 2. アメリカ、イギリス、ソ連の首脳が集まり、敗色が濃厚となった日本に対して無条件降伏を求める宣言を採択した。 | 3. 資本主義陣営の結束を強めるため、アメリカを中心に北大西洋条約機構 (NATO) が結成され、経済援助であるマーシャル・プランが開始された。 | 4. アメリカとソ連がドイツを分断して統治することを決定し、ベルリンの壁が建設されたことで冷戦がより深刻化した。 |
|---|---|--|--|
- 問10 1989年のベルリンの壁崩壊から、翌1990年の東西ドイツが統一に至るまでの背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. ヨーロッパ連合 (EU) が結成され、ヨーロッパの全ての国境が廃止されたこと。 | 2. ソビエト連邦が完全に解体されたことを受けて、東ドイツが吸収されたこと。 | 3. 第二次世界大戦の終結直後に、国際連合の主導で分断状態が解消されたこと。 | 4. ソ連の改革や東欧の民主化運動によって、冷戦の対立構造が崩れ始めたこと。 |
|--|--|--|--|
- 問11 1955年から1993年まで続いた「55年体制」に関する説明として、当時の政党の状況や議会の仕組みに触れたものとして正しいものはどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 1945年の日本国憲法公布とともに始まり、自由民主党と日本社会党が数年ごとに交代で政権を担当する平和的な制度であった。 | 2. 1989年の消費税導入や2004年の紙幣デザイン変更など、自由民主党が常に参議院の全議席を独占して決定する体制であった。 | 3. 政権与党である自由民主党と、最大野党である日本社会党が、衆議院を中心に政見を戦わせる二大政党に近い政治体制であった。 | 4. 自由民主党が野党第一党として、政権を担う日本社会党の政策を厳しく追及し、衆議院での主導権を争い続けた。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため	1960年代の日本では、高度経済成長に伴う地域的な公害（大気汚染や水質汚濁など）が深刻な社会問題となっており、それらを規制するために「公害対策基本法」が制定されました。しかし、1990年代に入ると、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった国境を越える地球規模の課題が顕在化したため、従来の公害対策を包含しつつ、より広く環境保全や国際協力を推進するための「環境基本法」へと発展的に解消・統合されました。
問2	答え 1 ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）	国際連合の専門機関であるユネスコは、教育、科学、文化の振興を通じて国際協力を促進し、世界の平和と安全に貢献することを使命としています。その主要な活動の一つが、1972年に採択された世界遺産条約に基づき、人類共通の財産である文化遺産や自然遺産を保護することです。選択肢にあるユニセフは子どもの支援、WHOは保健衛生、ILOは労働環境の改善を主目的とする機関です。
問3	答え 1 ソビエト連邦が解体され、東欧の民主化とともに多くの国が独立したため	1980年代末のベルリンの壁の崩壊をきっかけに東欧諸国で民主化が進み、1991年にはソビエト連邦が解体されました。これにより、旧ソ連構成国や東欧の旧社会主義国が次々と独立国家として国際連合へ加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が急増しました。なお、アフリカの年（1960年）や国際連盟の設立（1920年）は時代設定が異なります。
問4	答え 1 マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した	1989年に東西分断の象徴であるベルリンの壁が崩壊したことを受け、同年に開催されたマルタ会談でアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ最高会議議長が対談しました。この場で、第二次世界大戦後から続いていた資本主義陣営と社会主義陣営の対立構造である「冷戦」の終結が公式に宣言されました。ソ連の解体は1991年の出来事であり、会談での宣言内容とは区別する必要があります。
問5	答え 3 マーストリヒト条約の発効により、ヨーロッパにおける経済的・政治的な統合体であるEUが発足した。	1975年から2024年にかけての現代史において、国際社会の大きな特徴の一つに「地域統合」があります。1993年の欧州連合（EU）の発足は、国家の枠組みを超えた新しい協力の形を象徴する出来事です。大西洋憲章は1941年、国際連盟は1920年、ノルマントン号事件は1886年の出来事であり、いずれも現代史のこの期間には含まれません。
問6	答え 1 大量生産・大量消費の社会背景により、ごみの総排出量は急激に増加し、年間5000万トンを超える水準に達した。	バブル経済期は、空前の好景気を背景に人々の消費活動が極めて活発になった時期です。この「大量消費」のライフスタイルは、廃棄物の急激な増加を招きました。当時のごみ排出量の推移を見ると、1980年代後半から急激に右肩上がりの曲線を描き、5000万トンを超えてピークへと向かう様子が確認できます。この時期の社会問題は、後の循環型社会形成推進基本法の制定など、資源循環への意識転換のきっかけとなりました。
問7	答え 3 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。	ラムサール条約は、1971年にイランのラムサールで採択された条約で、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。1993年にEUが誕生した時期、日本でも環境意識の高まりとともに、埋め立ての危機から守られた谷津干潟（千葉県習志野市）がこの条約に登録されました。他の選択肢は、ワシントン条約、ウィーン条約、世界遺産条約などの説明です。
問8	答え 3 ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された	ソ連のゴルバチョフ政権による改革は、それまでソ連の強い影響下にあった東欧諸国の民主化を後押ししました。これにより1989年に東欧の社会主義体制が次々と崩壊し、1991年末にはソビエト連邦自体が解体されたことで、冷戦の対立軸そのものが消失しました。キューバ危機やベルリン封鎖は冷戦中の緊張が高まった出来事であり、終結の背景ではありません。
問9	答え 1 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。	冷戦の終結により米ソ二大国による核戦争の脅威は後退しましたが、それまで抑えられていた民族紛争や宗教対立、地域紛争が表面化するようになりました。その象徴的な出来事が、マルタ会談の翌年に発生した湾岸戦争です。他の選択肢にあるベルリンの壁の建設（1961年）やNATOの結成（1949年）、ポツダム宣言（1945年）は、いずれも冷戦終結以前の出来事です。
問10	答え 4 ソ連の改革や東欧の民主化運動によって、冷戦の対立構造が崩れ始めたこと。	1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ政権が行ったペレストロイカ（改革）により、ソ連の東欧諸国に対する統制が弱まりました。これによりポーランドやハンガリーなどで民主化運動が活発化し、その波が東ドイツにも及びました。市民による自由を求めるデモが拡大した結果、1989年にベルリンの壁が開放され、東西ドイツが統一されるという歴史的な流れが作られました。ソ連の解体はドイツ統一後の1991年であるため、混同に注意が必要です。
問11	答え 3 政権与党である自由民主党と、最大野党である日本社会党が、衆議院を中心に政見を戦わせる二大政党に近い政治体制であった。	55年体制は、1955年の保守合同（自由民主党の結成）と社会党再統一によって成立した体制です。自由民主党が常に政権を担当し、日本社会党がその3分の2程度の議席を維持して憲法改正などに反対する最大野党として存在し続けるという、衆議院を主戦場とした対立構造が長く続きました。1945年から始まったわけではなく、また二大政党制の形をとりつつも実際には自民党が政権を独占し続けた点が特徴です。